

4. 車両維持管理業務

4. 車両維持管理業務 (1) 実施方針

1 官民競争入札の担当部局

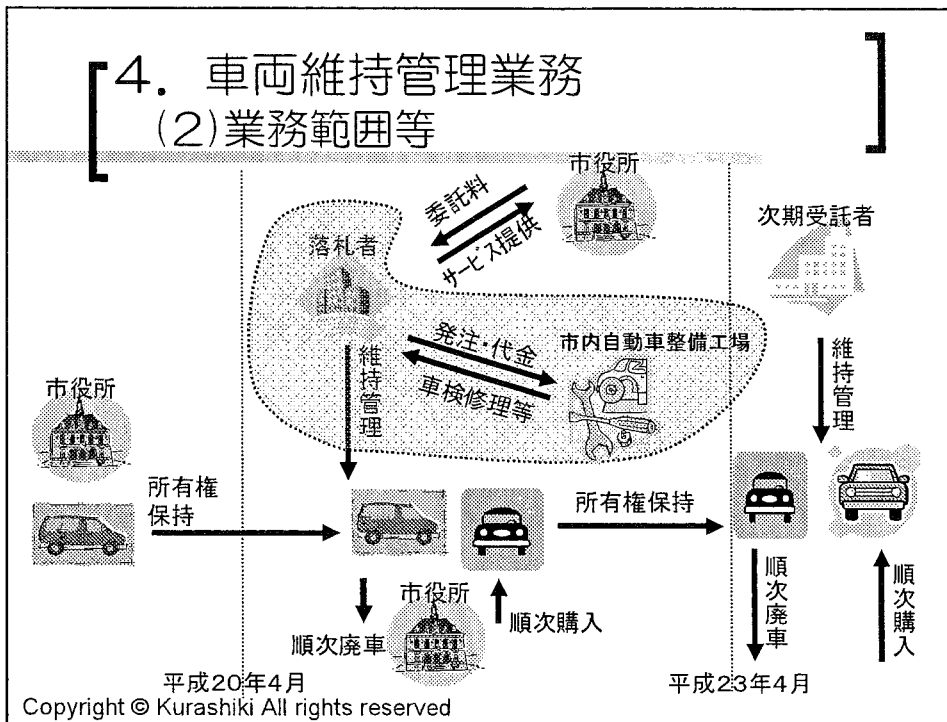
- 発注担当部局 総合政策局 行政経営課
- 応札担当部局 総務局 管財課

2 官民競争入札対象事業の内容

- (1) 事業名称 車両維持管理業務
- (2) 対象車両 444台(平成19年4月現在)
- (3) 事業期間 平成20年4月から平成23年3月まで 3年間
- (4) 業務範囲
 - 点検修理車検関連業務(点検・消耗品交換・修理・車検 など)
 - 事故関連業務(保険加入・事故処理・示談交渉 など)
 - 運行管理関連業務(車両予約システム・運行データ管理 など)
 - 付属施設等管理業務(車庫その他付属施設等の維持管理 など)

Copyright © Kurashiki All rights reserved

4. 車両維持管理業務 (2)業務範囲等



4. 車両維持管理業務 (3)入札実施スケジュール

- | | |
|-----------------|---------|
| 1 実施方針の公表 | 平成19年5月 |
| 2 関係条例・予算の成立 | 6月市議会 |
| 3 選定委員会の設置等 | 8月10日 |
| 4 官民競争入札の実施 | |
| ○公告 | 9月27日 |
| ○説明会 | 10月15日 |
| ○提案書提出締切 | 11月12日 |
| 5 落札者の選定(選定委員会) | 11月28日 |
| 6 落札者の公表 | 12月6日 |
| 7 業務開始 | 平成20年4月 |

Copyright © Kurashiki All rights reserved

5. 落札者等の選定方法

【5. 落札者の選定方法 (1)なぜ、総合評価なのか①】

■ 総合評価って？

● 通常の競争入札

単純に価格の多少のみを評価。1円でも安価であれば良い。実際の履行能力、業務水準等は考慮されないため、所謂『安かろう、悪かろう』との批判も！

● 総合評価方式による競争入札

価格の多少に加え、応札者の財務状況や類似業務における過去の実績、更には、事業計画の優劣などを点数化し、総合的に最も優れた者を落札者とする仕組み

5. 落札者の選定方法 (1)なぜ、総合評価なのか②

■ なぜ？

- **行政サービスの質の向上が目的だから**
通常の競争入札では、所謂『安かろう、悪かろう』となる、恐れも。
一方、総合評価方式では、『官』、『民』それぞれが、サービス水準を向上させるために、創意工夫を凝らした事業計画を練ることとなる。
- **職員の意識改革に資すると考えるから**
競争入札の結果（勝敗）は兎も角、事務事業を見直し、様々な創意工夫に富んだ事業計画を立案することが重要。

Copyright © Kurashiki All rights reserved

5. 落札者の選定方法 (2)官民競争入札落札者選定委員会①

■ 官民競争入札落札者選定委員会って？

- **サービス水準の質を評価する第三者委員会**
総合評価方式の実施に当たっては、サービス水準の質について、評価を行う必要がある。『官』も入札に参加するため、第三者による評価が必要。
戸籍・住民票などの窓口業務について官民競争入札等を実施する場合は、『競争の導入による公共サービスの改革に関する法律』の規定により、条例でこれを設置しなければならない。

Copyright © Kurashiki All rights reserved

5. 落札者の選定方法

(2)官民競争入札落札者選定委員会②

■ 委員構成

- 公認会計士
- 岡山県損害保険代理業協会 副会長
- 社団法人岡山県自動車整備振興会 専務理事
- 岡山商科大学商学部 教授
- 岡山県備中県民局協働推進室 室長

Copyright © Kurashiki All rights reserved

5. 落札者の選定方法

(3)評価方法及び評価基準

- 別紙『車両維持管理業務 選定基準書(兼配点表)』
のとおり

Copyright © Kurashiki All rights reserved